



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月6日

上場会社名 株式会社 ユナイテッドアローズ

上場取引所 東

コード番号 7606 URL <http://www.united-arrows.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 竹田 光広

問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部部长 (氏名) 中澤 健夫

TEL 03-5785-6325

四半期報告書提出予定日 平成26年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	93,638	10.6	10,927	△5.9	10,954	△6.0	6,396	△5.4
25年3月期第3四半期	84,636	11.6	11,611	13.1	11,651	12.7	6,763	20.3

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 6,422百万円 (△4.4%) 25年3月期第3四半期 6,718百万円 (19.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	200.95	—
25年3月期第3四半期	213.48	212.12

(注) 平成26年3月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第3四半期	64,394	30,043	30,043	46.7	943.47	
25年3月期	54,395	25,403	25,403	46.7	799.65	

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 30,043百万円 25年3月期 25,403百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
25年3月期	—	15.00	—	38.00	53.00
26年3月期	—	20.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	41.00	61.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	125,545	9.1	13,462	7.2	13,484	7.2	7,754	6.0	243.19

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	37,800,000 株	25年3月期	37,800,000 株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	5,956,024 株	25年3月期	6,031,580 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	31,830,674 株	25年3月期3Q	31,683,207 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	P. 4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 4
3. 四半期連結財務諸表	P. 5
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 7
【第3四半期連結累計期間】	
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 11
(継続企業の前提に関する注記)	P. 11
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	P. 11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 11
4. (参考) 四半期財務諸表（個別）	P. 12
(1) (参考) 四半期貸借対照表（個別）	P. 12
(2) (参考) 四半期損益計算書（個別）	P. 14
【第3四半期連結累計期間】（参考）（個別）	
5. 補足情報（・平成26年3月期第3四半期の個別売上概況について）	P. 15
(1) 全社売上高の状況	P. 15
(2) 事業別の売上状況	P. 15
(3) 既存店の状況（小売）	P. 15
(4) 品目別の売上状況	P. 15
(5) チャンネル別の売上状況	P. 15

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（平成25年4月1日から12月31日まで）におけるわが国経済は、政府の経済対策および金融政策によって円安が進行し、輸出関連企業の業績に改善傾向が見られました。また株価上昇に伴い景気回復への期待感が高まるなど、国内経済は徐々に明るさを増しております。一方、海外景気の下振れ懸念や円安による輸入資材の価格上昇、商品価格の高騰、光熱費の上昇などに伴う景気後退リスクも依然残っております。

衣料品小売業界におきましては消費者マインドの持ち直しが見られ、百貨店の高額品を中心に好調な動きが見られたものの、春先の低気温、記録的猛暑や相次ぐ台風の上陸などの不安定な天候に伴い、厳しい状況が継続いたしました。一部の商品では平成26年4月の消費税率引上げに伴う駆け込み需要が期待されるものの、その後の反動も懸念されるなど、先行きの不透明感は継続しております。

このような状況の下、株式会社ユニテッドアローズにおきましては、平成26年3月期の単年度経営スローガンとして「『チャレンジ』、進化、成長し続ける既存事業の磐石な収益基盤のもと、新規事業開発を通じた新たな価値創造へのチャレンジ、増収増益・3期連続最高益更新へのチャレンジ」を掲げております。このスローガンの達成に向け、以下の4つの全社方針を着実に推進いたしました。

① 進化、成長し続ける既存事業への『チャレンジ』

既存事業につきまして、社会潮流の変化に対応してお客様のニーズを捉え、競争力の源泉である「ヒト・モノ・ウツワ」の進化を通じて新たな価値を提供し続けてまいりました。商品・販売・宣伝部門の連携を強化し、お客様の声を活かした商品を適時適量に投入することで、当第3四半期累計期間の小売+ネット通販既存店売上高前期比は102.5%と前年同期を上回って推移いたしました。

② 新規事業開発への『チャレンジ』

当社は、再成長に向けて新たな挑戦をするための体制が整ったと判断し、一時的に休止していた新規事業開発を平成25年3月期より再開いたしました。当第3四半期累計期間においては、ビューティ&ユース ユニテッドアローズの事業内事業としてニューヨーク発のセレクトショップ「スティーブン アラン」の店舗を東京、大阪地区に計3店舗（※）オープンいたしました。海外展開につきましては、8月に海外子会社の「台湾聯合艾諾股份有限公司」を台湾に設立し、10月には初の海外直営店となる「ユニテッドアローズ 台北店」を出店したほか、平成26年5月の「ビューティ&ユース ユニテッドアローズ 台北店」の出店に向けた準備を進めました。あわせて、将来の主力事業を目指す新規事業の「アストラット」の平成26年2月出店、ユニテッドアローズの事業内事業となる「ボウ & アローズ」の平成26年4月出店に向けた準備を開始いたしました。

※「スティーブン アラン」3店舗のうち2店舗は「ビューティ&ユース ユニテッドアローズ」の別館であるため、店舗数カウントには含みません。

③ O2Oリーディングカンパニーへの『チャレンジ』

O2O（※）とは、実店舗（オフライン）とインターネット（オンライン）との購買活動を相互に連携・補完し合うことにより顧客満足度を高める施策を指します。スマートフォンなどの新しい通信機器の普及や、個々のお客様にあわせて商品を推薦する機能などの進化によってネット通販が浸透し、O2Oはファッション業界にとって欠かすことのできないキーワードの一つになりました。平成26年3月期はこれを戦略課題に位置づけ、当第3四半期累計期間においては実店舗とネット通販の連携強化に向けた新たな取り組みの準備として「ユニテッドアローズ オンラインストア」のスマートフォンアプリの開発を進めたほか、物流在庫情報を各通販サイトと連携させることで、販売機会損失を軽減させる取り組みを拡大いたしました。

※O2O＝オー・ツー・オー/Online to Offline

④ 生産性向上による利益拡大への飽くなき『チャレンジ』

既存事業の強化や新規事業の開発を行う一方、管理面では、引き続きメリハリのあるコストコントロールと業務効率改善による生産性向上に向けた取り組みを推進いたしました。その結果、当第3四半期累計期間においては、円安に伴う売上総利益率の低下を補うべく、全社的なコストコントロールを推進いたしました。結果、期初計画に比較し売上が増加したことに伴い変動費が約3億円増加したものの、固定費を約7億円抑制することにより、販管費は計画比約4億円の減で推移しております。

出退店では、ユナイテッドアローズ事業：7店舗の出店、1店舗の退店、グリーンレーベル リラクシング事業：6店舗の出店、2店舗の退店、クロムハーツ事業：1店舗の出店、スモールビジネスユニット：8店舗の出店、1店舗の退店、アウトレット：1店舗の出店を実施し、当第3四半期末（平成25年12月末）の小売店舗数は208店舗、アウトレットを含む総店舗数は227店舗となりました。

連結子会社の株式会社フィーゴは、今後の売上拡大に向け、当第3四半期累計期間において、イタリアのファッションブランドであるアルベルト アスペジ社（ALBERTO ASPESI & C. S.p.A.）、「アルエロ デザイン」のブランド名でアイウェアの製造・卸事業を展開するイタリアのコーンセプト社（COONCEPT srl）およびアウトウェアブランド「ハンコック」を取り扱う英国のトーマスハンコック社（THOMAS HANCOCK & COMPANY LIMITED）とそれぞれ日本における独占輸入販売権を取得いたしました。業績につきましては、小売、ネット通販が好調に推移したことで増収となりましたが、円安の影響に伴う売上総利益率の減ならびに営業・管理体制の強化や新規ブランド獲得に向けた先行コストの発生等により減益となりました。出退店では1店舗の出店を実施し、当第3四半期末（平成25年12月末）の直営店舗数は13店舗となりました。

連結子会社の株式会社コーエン（決算月：1月）は、新規出店に伴う増収のほか、ネット通販が堅調に推移し増収となりましたが、円安の影響や値引き販売の増等に伴う売上総利益率の減や、当第3四半期累計期間において13店舗の新規出店を実施したこと等による販管費の増に伴い減益となりました。出退店では前述の13店舗の出店のほか、2店舗の退店を実施し、当第3四半期末（平成25年10月末）の店舗数は62店舗となりました。

連結子会社の台湾聯合艾諾股份有限公司（決算月：1月）は8月の会社設立後、10月に海外初の直営店「ユナイテッドアローズ 台北店」を出店いたしました。

なお、グループ全体では当第3四半期連結累計期間に38店舗の出店、6店舗の退店を実施し、当第3四半期連結累計期間末の店舗数は303店舗となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高につきましては、新店出店に伴う増収、既存店およびネット通販の伸長により、前年同期比10.6%増の93,638百万円となりました。売上総利益率は円安の影響等に伴い、前年同期から1.5ポイント減の54.5%となりましたが、売上高の伸長に伴い売上総利益額につきましては前年同期比7.7%増の51,071百万円となりました。販売費及び一般管理費につきましては、新規出店の増等に伴い、前年同期比12.1%増の40,144百万円となり、販売費及び一般管理費率につきましては、前年同期から0.6ポイント増の42.9%となりました。

以上により、当第3四半期連結累計期間の営業利益は10,927百万円（前年同期比5.9%減）、経常利益は10,954百万円（前年同期比6.0%減）、四半期純利益は6,396百万円（前年同期比5.4%減）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

流動資産は、前連結会計年度末と比較して8,837百万円（25.3%）増加43,826百万円となりました。これは、商品が6,554百万円、未収入金が2,803百万円それぞれ増加した一方、現金及び預金が544百万円、繰延税金資産が495百万円それぞれ減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末と比較して1,161百万円（6.0%）増加の20,567百万円となりました。これは、出店などにより建物及び構築物が803百万円、差入保証金が289百万円、投資その他の資産、その他が187百万円それぞれ増加した一方、償却などにより有形固定資産、その他が208百万円減少したことなどによります。

（負債）

流動負債は、前連結会計年度末と比較して5,704百万円（22.2%）増加の31,429百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が4,129百万円、短期借入金が6,100百万円それぞれ増加した一方、1年内返済予定の長期借入金が1,660百万円、未払金が647百万円、未払法人税が790百万円、賞与引当金が1,357百万円それぞれ減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末と比較して346百万円（10.6%）減少の2,921百万円となりました。これは、資産除去債務が335百万円増加した一方、長期借入金が681百万円減少したことなどによります。

（純資産）

純資産合計は、前連結会計年度末と比較して4,640百万円（18.3%）増加の30,043百万円となりました。これは、利益剰余金が四半期純利益により6,396百万円増加した一方、配当金の支払により1,775百万円減少したことなどによります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績は概ね当初計画どおりに推移しており、平成25年5月8日発表の業績予想の修正はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,334	5,790
受取手形及び売掛金	166	145
商品	17,251	23,805
貯蔵品	229	311
未収入金	8,940	11,744
その他	2,069	2,032
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	34,989	43,826
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,014	7,818
その他(純額)	1,959	1,750
有形固定資産合計	8,973	9,568
無形固定資産		
その他	1,589	1,678
無形固定資産合計	1,589	1,678
投資その他の資産		
差入保証金	7,001	7,291
その他	1,868	2,056
貸倒引当金	△26	△26
投資その他の資産合計	8,843	9,320
固定資産合計	19,405	20,567
資産合計	54,395	64,394
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,496	12,625
短期借入金	4,000	10,100
1年内返済予定の長期借入金	3,091	1,431
未払法人税等	2,422	1,631
賞与引当金	2,070	712
役員賞与引当金	113	—
その他	5,529	4,927
流動負債合計	25,724	31,429
固定負債		
長期借入金	681	—
役員退職慰労引当金	313	309
資産除去債務	2,264	2,599
その他	7	11

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
固定負債合計	3,267	2,921
負債合計	28,991	34,350
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,030	3,030
資本剰余金	4,095	4,095
利益剰余金	24,456	28,993
自己株式	△6,197	△6,119
株主資本合計	25,384	29,999
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△12	15
繰延ヘッジ損益	31	28
為替換算調整勘定	—	△0
その他の包括利益累計額合計	18	44
純資産合計	25,403	30,043
負債純資産合計	54,395	64,394

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	84,636	93,638
売上原価	37,222	42,566
売上総利益	47,413	51,071
販売費及び一般管理費	35,802	40,144
営業利益	11,611	10,927
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	4	0
為替差益	9	—
仕入割引	34	37
受取賃貸料	46	27
その他	64	83
営業外収益合計	160	150
営業外費用		
支払利息	67	44
支払手数料	0	0
為替差損	—	25
賃貸費用	24	17
その他	27	35
営業外費用合計	120	123
経常利益	11,651	10,954
特別利益		
固定資産売却益	—	1
特別利益合計	—	1
特別損失		
減損損失	717	225
その他	33	67
特別損失合計	750	292
税金等調整前四半期純利益	10,901	10,663
法人税、住民税及び事業税	3,562	3,719
法人税等調整額	574	547
法人税等合計	4,137	4,267
少数株主損益調整前四半期純利益	6,763	6,396
四半期純利益	6,763	6,396

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	6,763	6,396
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1	28
繰延ヘッジ損益	△44	△2
為替換算調整勘定	—	△0
その他の包括利益合計	△45	25
四半期包括利益	6,718	6,422
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,718	6,422
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3 四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3 四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	10,901	10,663
減価償却費	1,117	1,264
無形固定資産償却費	182	138
長期前払費用償却額	82	95
減損損失	717	225
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△1,370	△1,357
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△99	△113
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△207	△4
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1	△0
受取利息及び受取配当金	△5	△1
支払利息	67	44
売上債権の増減額 (△は増加)	△3,561	△2,831
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△4,944	△6,636
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△65	△405
仕入債務の増減額 (△は減少)	3,894	4,129
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△856	△433
その他の固定負債の増減額 (△は減少)	△4	8
その他	4	38
小計	5,852	4,823
利息及び配当金の受取額	5	1
利息の支払額	△68	△44
法人税等の支払額	△6,039	△4,479
営業活動によるキャッシュ・フロー	△250	301
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△9	△9
投資有価証券の取得による支出	—	△39
有形固定資産の取得による支出	△1,752	△1,990
資産除去債務の履行による支出	△62	△14
無形固定資産の取得による支出	△131	△193
長期前払費用の取得による支出	△180	△364
差入保証金の差入による支出	△461	△496
差入保証金の回収による収入	172	206
その他	△2	3
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,426	△2,898

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	4,900	6,100
長期借入金の返済による支出	△2,656	△2,342
自己株式の処分による収入	88	62
配当金の支払額	△1,231	△1,775
その他	—	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,100	2,044
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	△0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,575	△553
現金及び現金同等物の期首残高	7,966	6,142
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,390	5,588

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第3四半期連結会計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

当第3四半期連結会計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

台湾聯合艾諾股份有限公司は、当第3四半期連結会計期間より営業を開始し、重要性が増したため、連結の範囲に含めております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結会計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

該当事項はありません。

4. (参考) 四半期個別財務諸表 (個別)

(注) この四半期財務諸表 (個別) は、四半期財務諸表等規則に基づき当社が任意で作成したものです。

(1) (参考) 四半期貸借対照表 (個別)

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,857	4,191
受取手形及び売掛金	10	3
商品	15,973	21,410
貯蔵品	229	311
未収入金	8,412	11,267
その他	2,423	2,437
貸倒引当金	△ 1	△ 1
流動資産合計	30,905	39,619
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物 (純額)	6,453	7,039
その他 (純額)	1,842	1,599
有形固定資産合計	8,295	8,639
無形固定資産	1,555	1,589
投資その他の資産		
差入保証金	6,348	6,489
その他	3,961	4,288
貸倒引当金	△ 26	△ 26
投資その他の資産合計	10,283	10,751
固定資産合計	20,134	20,980
資産合計	51,040	60,600

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	7,655	11,492
短期借入金	2,900	8,700
1年内返済予定の長期借入金	3,091	1,431
未払法人税等	2,222	1,628
賞与引当金	1,978	672
役員賞与引当金	102	—
その他	5,206	4,611
流動負債合計	23,156	28,535
固定負債		
長期借入金	681	—
役員退職慰労引当金	309	309
資産除去債務	2,015	2,295
その他	7	11
固定負債合計	3,014	2,616
負債合計	26,170	31,152
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,030	3,030
資本剰余金	4,095	4,095
利益剰余金	23,924	28,411
自己株式	△ 6,197	△ 6,119
株主資本合計	24,852	29,417
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△ 12	13
繰延ヘッジ損益	29	17
評価・換算差額等合計	16	30
純資産合計	24,869	29,448
負債純資産合計	51,040	60,600

(2) (参考) 四半期損益計算書 (個別)
 【第3四半期累計期間】 (参考) (個別)

(単位：百万円)

	前第3四半期累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
売上高	78,999	87,015
売上原価	35,092	39,806
売上総利益	43,907	47,209
販売費及び一般管理費	32,965	36,473
営業利益	10,942	10,735
営業外収益		
受取利息	3	2
受取配当金	4	0
為替差益	8	—
仕入割引	34	37
関係会社業務受託料	10	6
受取賃貸料	46	28
その他	62	90
営業外収益合計	170	165
営業外費用		
支払利息	63	39
為替差損	—	13
賃貸費用	24	17
その他	27	34
営業外費用合計	115	105
経常利益	10,997	10,795
特別利益		
固定資産売却益	—	1
特別利益合計	—	1
特別損失		
減損損失	717	223
その他	27	56
特別損失合計	744	279
税金等調整前四半期純利益	10,252	10,518
法人税、住民税及び事業税	3,377	3,604
法人税等調整額	548	567
法人税等合計	3,926	4,171
四半期純利益	6,326	6,346

5. 補足情報

・平成26年3月期第3四半期の個別売上概況について

前第3四半期:平成25年3月期第3四半期(自平成24年4月1日至平成24年12月31日 9ヶ月)

当第3四半期:平成26年3月期第3四半期(自平成25年4月1日至平成25年12月31日 9ヶ月)

(1) 全社売上高の状況 (単位:百万円、%)

	前第3四半期(A)	当第3四半期(B)	増減額(B)－(A)	増減率
全社売上高	78,999	87,015	8,015	10.1

(2) 事業別の売上状況 (単位:百万円、%)

	前第3四半期(A)	当第3四半期(B)	増減額(B)－(A)	増減率
UA事業	35,542	38,699	3,157	8.9
GLR事業	17,129	19,177	2,048	12.0
CH事業	5,473	7,023	1,550	28.3
S.B.U.およびUAラボ	10,559	10,986	427	4.0
ビジネスユニット計	68,704	75,887	7,182	10.5
その他	10,294	11,127	832	8.1
全社売上高	78,999	87,015	8,015	10.1

※1. S.B.U.=Small Business Unit

※2. 各ビジネスユニットに含まれる売上高は、小売、卸売、通販等であり、「その他」に含まれる売上高は、アウトレット等であります。

(3) 既存店の状況(小売) (単位:%)

	売上高増減率	客数増減率	客単価増減率
UA事業	1.3	△ 4.3	5.8
GLR事業	2.0	△ 1.9	4.0
CH事業	10.7	△ 6.8	18.8
S.B.U.およびUAラボ	△ 2.4	△ 4.6	2.3
ビジネスユニット計	1.8	△ 3.5	5.5

(4) 品目別の売上状況 (単位:百万円、%)

	前第3四半期(A)	当第3四半期(B)	増減額(B)－(A)	増減率
メンズ	25,279	26,831	1,552	6.1
ウイメンズ	34,409	38,133	3,723	10.8
シルバー&レザー	6,984	8,560	1,576	22.6
雑貨等	2,031	2,362	330	16.3
ビジネスユニット計	68,704	75,887	7,182	10.5
その他	10,294	11,127	832	8.1
全社売上高	78,999	87,015	8,015	10.1

※ シルバー&レザーとは「CHROME HEARTS」ブランドの銀製装飾品および皮革製ウエアであります。

(5) チャネル別の売上状況 (単位:百万円、%)

	前第3四半期(A)	当第3四半期(B)	増減額(B)－(A)	増減率
北海道・東北地区	2,653	2,678	25	1.0
関東(東京以外)地区	9,359	10,499	1,140	12.2
東京地区	27,392	30,303	2,911	10.6
甲信越・北陸・東海地区	5,313	5,691	378	7.1
関西地区	8,836	10,468	1,632	18.5
中国・四国・九州地区	5,870	6,345	475	8.1
小売合計	59,424	65,987	6,562	11.0
ネット通販	8,718	9,348	629	7.2
卸等	561	552	△ 9	△ 1.7
その他	10,294	11,127	832	8.1
全社売上高	78,999	87,015	8,015	10.1